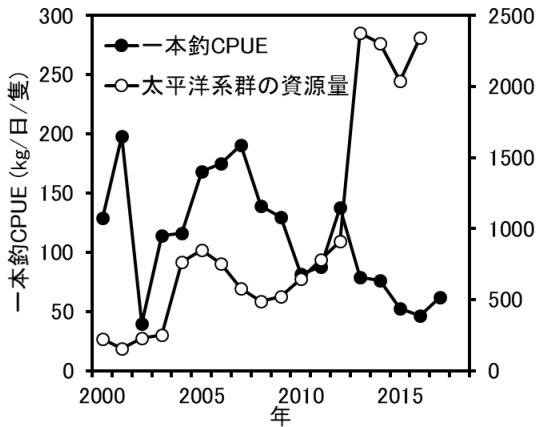


資源の動向 「低位・減少」



一本釣CPUE (kg/日/隻)と太平洋系群の資源量の推移

マサバ太平洋系群の資源量は卓越年級群の発生と漁獲圧の低下により増加し、平成29年度の国の資源評価では資源水準は「中位」、動向は「増加」と判断されている。

一方、本県沿岸における資源量指標値(一本釣CPUE)は、2008年以降減少傾向で、直近の2018年は2000年以降では3番目に低い水準となった。資源量が増加しているにも関わらず、本県沿岸への来遊が少ない原因は、水温や海流をはじめとする環境要因、他魚種との競合なども考えられ、今後解析を行っていく。

対象漁業

- 定置網漁業
- 一本釣漁業
- たもすくい漁業



生物学的特性

- 分布: 日本列島近海
- 移動: 春に伊豆諸島海域で産卵し、夏～秋には三陸～道東沖へ移動する
神奈川県沿岸(相模湾、東京湾)で漁獲されるマサバは親魚が主体
- 成長: 尾叉長は2歳で30cm前後、5歳で39cm前後(寿命は7～8歳)
- 産卵期等: 1～6月(盛期は3～6月)

